

**全国有力100社
アンケート調査**

「やや強気」が43%でトップ 「横ばい」40% 「やや弱気」12%

12月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「12月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「やや強気」が43%で最も多かった。「強気」も4%あり、全体の47%が強基調となった。「横ばい」は2番目に多く、全体の40%を占めた。「やや弱気」は12%、「弱気」は1%だった。

◆業種別～商社・シッパーの強気予想が目立つ

電炉メーカーの回答は分散、「やや強気」「横ばい」「やや弱気」がいずれも31%を占めた。残りは「弱気」で7%だった。商社・シッパーは、「やや強気」が61%、「横ばい」が31%、「やや弱気」が8%で、3業種の中でも強気予想が目立った。市中業者のトップは「横ばい」で、43%を占めた。次に多かったのは「やや強気」で42%、残りは「やや弱気」が9%、「強気」が6%だった。

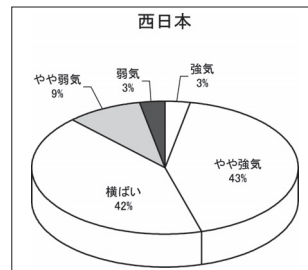
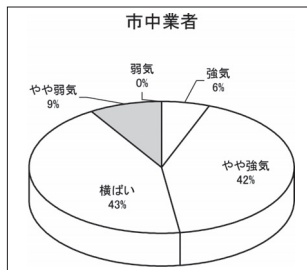
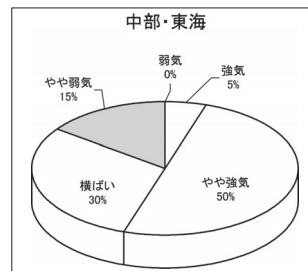
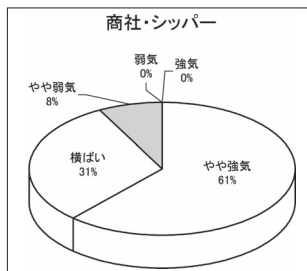
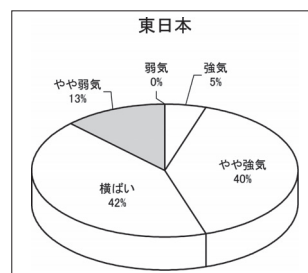
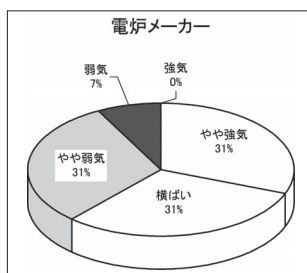
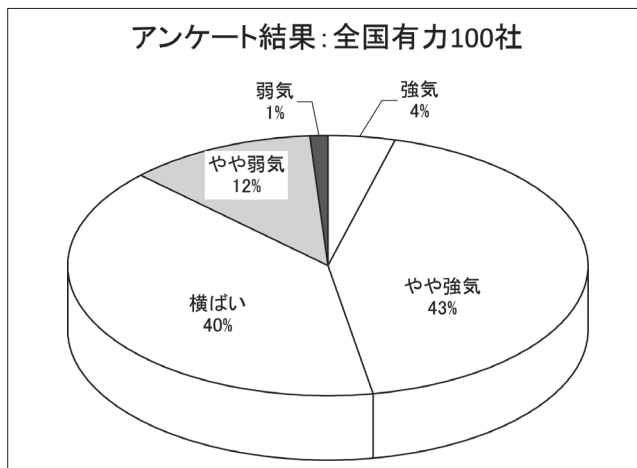
◆地域別～中部・東海で「強気」と「やや強気」の強基調回答が比較的多い結果に。

各地域とも各回答の割合は類似したものとなった。その中では、中部・東海では「やや強気」が50%、「強気」が5%と、強基調の回答が比較的多かった。東日本で多かったのは、「横ばい」の42%と「やや強気」の40%。西日本も同様の展開ながら、トップは「やや強気」で43%、次いで「横ばい」が42%だった。

<個別コメント(一部)>

▼国内電炉は、年末年始の設備更新等で12月は生産が11月より減少する予定だが、市中発生も回復しない状況が続いており、横ばいで推移すると思われる。韓国も国内発生が増加しなければ日本屑にオファーが集まるが、その引き合い次第では輸出価格の更なる上昇が考えられる。▼価格が4万円に近づいてきたこと、また年末ということで荷動きは好転するだろう。一方、年末年始の操業のため在庫積み増しでメーカーの需要も旺盛と見込まれる。▼増税前の駆け込み需要により

製鉄メーカーの製造が増加、それに伴う価格上昇が見込めるが、製品原料としての上限価格にも近付いてきており、大幅な値上げは起こらないと考えている。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:12月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:11月25日～12月3日 ■回答率:93.0%(東日本100.0%、中部・東海100.0%、西日本82.5%)